

部局名	教育委員会	所属名	指導課	所属長名	三橋 勝則	電話	481-0301
-----	-------	-----	-----	------	-------	----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	3390	事務事業名称	教育研修事業	短縮コード	経常	3390	臨時					
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	03	教育振興費
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第45条、教育公務員特例法第21条(研修)								
事業概要(事務事業を開始したきっかけを含めて記入)												
①教職員の職能と識見の向上のために、文部科学省主催の講座等全県あるいは全国各地の教職員と今日的課題等について研修を深める。②昭和30年頃から、教科指導の改善、地域の実態に即した教育や学習指導力の向上、教育課程への取り組み等を中心にして学校への支援を実施している。文部科学省や千葉県教育委員会の指定、市の研究指定により実施しているほか、自主的に研究テーマを設定し、校内研修を通して職員の資質・学習指導力の向上を目指して自主的に公開研究会を実施している。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱(章)	02	人間尊重都市をめざして					
社会の急激な変化(情報化、国際化、少子高齢化)に伴い、学習指導要領の内容も改訂され、学校教育への期待も多様化してきている。そのため、学校及び教職員は普段から研修・研究が必要であり、絶えず資質・指導力の向上に努めることが市民からも望まれている。公開研究会については、新教育課程の実施・定着に伴い、実のある公開研究会を開催する必要がある。					大項目(節)	01	学校教育					
					中項目	02	義務教育					
					小項目(施策)	02	教育内容の充実					
					細項目	01	学習・生徒指導の充実					
						02	新しい教育環境への対応					
				実施計画の計画事業								
計画事業の位置付けの有無	<input type="checkbox"/>		計画事業期間	～			計画事業費	千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	市内小中学校教職員						
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成18年度に実際に行ったこと: ①国、県より派遣依頼のある研修に教職員を派遣する。②小中学校における公開研究会や校内研修会に対して財政的指導的な援助を行う。③船橋地域生徒指導行政担当者連絡協議会や市の教育講演会、合同研修会に財政的な援助を行う。 ※平成19年度に計画していること: 平成18年度と同様						
意図 (何を狙っているのか)	①先進的な指導技術や指導理論・経営技術等を学ぶことによる教職員の資質の向上 ②教職員の教科・領域・総合的な学習の時間の指導力向上 ③教職員の資質の向上と力量形成						
結果 (どんな結果に結びつけるのか)	①教職員の資質の向上 ②教職員の学習指導力の向上 ③教職員の資質の向上と指導力の向上						
区分	指標	内容	単位	17年度 実績	18年度 計画	18年度 実績	19年度 計画
対象指標	指標1	市内小中学校教職員数	人	713	769	818	836
	指標2	市内小中学校数	校	32	32	32	33
	指標3	市内小中学校教職員数(含む指導課指導主事)	人	721	777	826	844
活動指標	指標1	派遣研修参加職員数	人	13	10	10	10
	指標2	公開研究会実施学校数	校	17	14	14	17
	指標3	研修会参加職員数	人	721	777	826	844
成果指標	指標1	派遣研修参加教職員数/教職員数	%	1.3	1.3	1.2	1.2
	指標2	公開研究会実施校数/学校数	%	43.8	59.4	43.8	51.5
	指標3	研修参加教職員数/教職員数	%	100	100	100	100
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード	3390	事務事業名称	教育研修事業		所属名	指導課	
	単位	17年度		18年度		19年度	
		実績	計画	実績	計画	計画	
事業費(A)	財源内訳	国	千円	0	0	0	0
		県	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	772	836	758	924
		その他	千円	0	0	0	0
主な事業費の内訳		講師謝金		報償費		報償費	報償費
人件費(B)		千円	7,559.3	5,565.7	4,790.5	4,790.5	
トータルコスト(A)+(B)		千円	8,331.3	6,401.7	5,548.5	5,714.5	

3. 事務事業の評価(S E E)

評価類型	評価事項	評価区分	理由			
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 結び付いている	上位の施策「学習生徒指導の充実」「新しい教育環境への対応」を推進するために、教員の各種研修事業を実施しており、結びついている。			
		<input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある				
		<input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
目的妥当性	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input type="checkbox"/> 達成している	新たな教育課題に対応するために、また、教職員の入れ替えに対応するために、毎年、初期目的を意識した取り組みが必要と考える。			
		<input checked="" type="checkbox"/> 達成していない				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
目的妥当性	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	<input type="checkbox"/> 可能性はある	公的な教育行政の一環として行っているため、民営化にはなじまない。			
		<input checked="" type="checkbox"/> 可能性はない				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
目的妥当性	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のままでよい	初期目的に変更はなく、現状の対象・意図の設定で結果に結びつく。			
		<input type="checkbox"/> 見直す必要がある				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性向上の可能性はある				
		<input type="checkbox"/> 効率性向上の可能性はある				
		<input type="checkbox"/> 両方可能性はある				
		<input type="checkbox"/> 可能性がない				
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	<input type="checkbox"/> 民間委託等	研修者主体の研修内容に工夫改善していくことで、有効性を向上させることができると考える。			
		<input type="checkbox"/> 臨時的任用職員等の活用				
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	<input type="checkbox"/> I T化等業務プロセスの見直し	類似事務事業名称	1		実施主体(所管部署)	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し		2		実施主体(所管部署)	
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合・役割見直し	研修内容の工夫改善。				
	<input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の方法					
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	<input checked="" type="checkbox"/> ある					
	<input type="checkbox"/> ない					

コード	3390	事務事業名称	教育研修事業			所属名	指導課																				
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		<input checked="" type="checkbox"/> 改革・改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続			今年度、文部科学省指定校3校、千葉県教育委員会の指定校10校、市の研究指定校2校がそれぞれの指定で研究を推進しているほか、学校によっては自主的に研究テーマを設定し、公開研究会を実施している。各学校は校内研修会を意図的に計画的に実施し、教職員の資質の向上を図ると共に、他校の公開研究会に積極的に参加し、授業参観及び研究概要説明等を通して互いに学んでいる。今後、更に事業を推進し、八千代の教育の質の向上を図りたい。																					
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経 費</th> </tr> <tr> <th>削 減</th> <th>不 変</th> <th>増 加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向 上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>不 変</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低 下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>					経 費			削 減	不 変	増 加	成 果	向 上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	不 変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	研究・研修の充実こそが教育力の質を高めると考えられるため
		経 費																									
		削 減	不 変	増 加																							
成 果	向 上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																							
	不 変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							
	低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
学校教育に対する多様なニーズが増大しているため、絶えず研究・研修の必要がある。	

所属長コメント	研究・研修の充実が教育力の向上につながっており、今後も充実をめざしたい。	
評価調整委員会意見	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続	費用対効果を検証し推進すべき。